気持ちの言葉 置きかえシート

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

「うれしかったです」「楽しかったです」を、そのときに**したこと**や**体のようす**に書きかえる練習です。一回に一文だけで大丈夫です。

① やりかた

① 線を引く
作文の中の、気持ちの言葉（うれしい・くやしい など）に線を引く。

② 思い出す
「そのとき、何をした？」「体はどうなった？」を思い出す。

③ 一文だけ書きかえる
気持ちの言葉を使わずに、したことで書く。

② 作例（こちらで作った例です）

うれしい　前：はじめて逆上がりができて、~~うれしかったです。~~
後：はじめて逆上がりができた日、家に帰ってからも、つい手のひらのまめを何度も見てしまいました。

楽しみ　前：遠足が~~楽しみでした。~~
後：遠足の前の夜、リュックのチャックを何度も開けては、中身をたしかめてしまいました。

はずかしい　前：発表で言いまちがえて、~~はずかしかったです。~~
後：発表で言いまちがえたとき、顔がかっと熱くなって、原こうから目を上げられなくなりました。

気持ちの言葉の例　うれしい・楽しい・楽しみ・くやしい・かなしい・さびしい・はずかしい・こわい・ほっとした・きんちょうした・おどろいた

使うと伝わりやすい言葉　つい・思わず・気がつくと・何度も／体のようす（顔が熱い・手をにぎる・息をはく）

③ やってみよう

練習1

気持ちの言葉 ＿＿＿＿＿＿＿＿
そのとき、何をした？
体はどうなった？ ＿＿＿＿＿＿＿＿

書きかえた一文 ＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿

練習2

気持ちの言葉 ＿＿＿＿＿＿＿＿
そのとき、何をした？
体はどうなった？ ＿＿＿＿＿＿＿＿

書きかえた一文 ＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿

練習3

気持ちの言葉 ＿＿＿＿＿＿＿＿
そのとき、何をした？
体はどうなった？ ＿＿＿＿＿＿＿＿

書きかえた一文 ＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿

おうちの方へ　聞くのは一つだけ：「そのとき、何をした？」「体はどうなった？」
全部を書きかえなくて大丈夫です。いちばん伝えたい一か所だけ。
「です・ます」と「だ・である」は、前の文とそろえます。